

令和7年度 第4号

学校教育目標:「ひと」とともに生きる生徒の育成

令和7年7月1日(火)発行

学校 Web ページ

↓↓↓



植竹中だより

目指す生徒像: 自ら考え、行動できる生徒 「笑顔でおはよう」「笑顔でさようなら」

さいたま市立植竹中学校

〒331-0804 さいたま市北区土呂町352

TEL 048(663)2115

FAX 048(665)6377

体育祭

校長 上 続 昌 司

5月31日から始まった、さいたま市学校総合体育大会では、どの種目においても最後まで諦めない強い意志をもって挑んでいた姿が印象的でした。特に3年生にとって最後の公式戦ということもあり、嬉し涙、悔し涙を流す様子をいくつも目にしました。公式戦だからこそ味わえる緊張感の中で、普段の力を発揮するのは難しいものですが、何より経験できたことが大きな財産になるはずです。そして、県大会に出場が決まった部の皆さんは、さいたま市の代表として誇りをもって闘ってきてほしいと思います。

さて、6月14日に行った体育祭について振り返ってみたいと思います。当日の天気は曇りから始まり、途中小雨が降ることもありましたが、体育祭を行うには絶好の天気となりました。残念であったのは、小学生の児童の皆さんやその保護者の方々、PTA種目であった玉入れ、そして、部活対抗リレーを実施できなかったことです。午後から雨が強くなるという天気予報だったため、午前中にできる限り実施することが重要となり、急遽判断させていただきました。楽しみにしていただいた方々に、心よりお詫び申し上げます。

入場行進は、一糸乱れず列が整ったまま進み「いよいよ始まる」というワクワクした気持ちにしてくれました。生徒会長さんの挨拶、選手宣誓、準備体操等、開会式だけでも3年生の意気込みの凄さに圧倒されっぱなしで、涙を流す先生方の姿もあり、ご来賓の皆様からも大きな拍手を頂きました。今年度からいくつか新しい種目を導入し、時間の短縮も検討してきました。どの種目においても大いに盛り上がり、「これぞ体育祭」と思わせてくれる感動を何度も味わうことができました。特に最後の学年種目は、それぞれの学年の特徴が良く出ていて、優勝を目指して一心不乱に取り組んでいる姿が今でも浮かんできます。そして、植中ソーランは想像を超える圧巻の舞で、観ている全ての人の心に刻まれたと思います。開始前の3年男子体育委員長さんたちのサプライズもあり、その年にしか観ることのできないソーラン節を愉しむことができました。今の3年生は、きっと去年の3年生の姿を観て「来年は自分たちが引っ張るんだ」と思ったのではないのでしょうか。だからこそ、今年の体育祭も素晴らしいパフォーマンスを披露してくれたのだと思います。その年には、その学年、特に3年生の強い想いが反映され、年々受け継がれ進化してくのだという事も実感できました。この体育祭を通じて育んだ絆を大切に、これからの生活に活かして行ってほしいと思います。

今年もPTA会長様のご配慮により、テントの準備していただきました。また、1週間前にも、後援会長様のお声掛けにより、多くの保護者の方々や卒業生が校庭の草刈り等の作業をしていただきました。さらには、後援会の皆様のご厚意により、優勝カップを新調させていただきました。この場をお借りし、改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

最後になりますが、保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動につきまして、ご理解、ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。2学期も何卒よろしくお願いします。

